

第6回 デジタル担当者会議 議事録

開催日時: 5月25日 (日)

場所: 海神公民館

出席者: 伊藤、長澤、瀬戸山、善生、黒田、看舎、斉藤 (敬称略)

欠席者: 別府、坂本 (敬称略)

議題: 会員減少問題への対策としてデジタル技術を活用する。

1. 情報共有のあり方について

● 部長会報告の共有方法改善の提案

- 現状: 総務部では、部長会の報告をメモで共有している。
- 提案: 今後はより理解しやすい動画やスライド形式での共有を検討する必要がある。
- 具体例: 今回作成・視聴した「部長会報告動画 (約5分)」および「『理事会どうする』動画 (約6分)」は分かりやすいとの意見があった。

● 情報共有範囲の検討

- 部長会の情報をどこまで共有するかは、最終的に部長会で決定すべきとの意見が出た。
- 理事からは、情報共有が進むことで会議への積極的な参加意識が高まるのでは、との期待の声が上がった。

● 部員間コミュニケーション活性化策 (総務部の例) を紹介

- パークゴルフの実施、7月の総務部旅行、懇親会などを通じ、コミュニケーション向上と情報共有を図っている。
- 各部長にも同様の取り組みを検討してほしいとの呼びかけがあった。

2. 会員減少問題について

2.1. 会員減少の主な原因

1. 会員構成が変化

- 初期修了生が高齢化し、新規修了生の参加者が減少している。

2. 運営・コミュニケーションに課題

- 連絡手段が紙中心になっている。(名簿管理がアナログである。)
- 情報発信が一方的になりがちである。

3. 活動内容・参加機会に課題

- 活動に停滞感があり、同好会未所属者にとって魅力的な活動が少なく なっている。
- 新しい分野の活動が不足している。

4. デジタル活用への障壁

- 会員のPCやスマートフォン操作への苦手意識がある。「難しそう」という心理的な抵抗感がある。

5. 組織運営上の課題

- 理事会が形骸化し、議論が不足している。

- 各役員の役割が不明確である。
- 非公式な活動（HPチーム等）の位置づけが曖昧である。

2.2. 会員減少への対策案を提案

基本方針: 「入会対象者の拡大」と「同好会の魅力向上・活性化」を両輪で進める。

1. 入会対象者の拡大（分母の拡大）

- **入会資格の拡大を検討**
 - 現状: 市民大学校いきいき学部卒業生に限定されている。
 - 提案: まちづくり学部卒業生への拡大を検討する。
 - 課題: 規定変更や、市との協議が必要である。
- **同好会の門戸開放を検討**
 - 同窓会員以外（市民大学校卒業生以外も含む）の参加受け入れについて、過去に議論があったが結論は出ていない。引き続き検討が必要である。
- **補助金規定の影響**
 - 市からの補助金（年間約90万円）の規定が、会員資格を限定する一因となっている可能性はあるのかどうか。

2. 同好会の魅力向上と活性化

- **活動の透明化・明確化**
 - 各同好会の活動内容が外部から 分かりにくく になっている。
 - 理事による体験参加などを通じ、活動内容を明確化し、透明性を高める必要性を指摘した。
- **情報発信と個人情報保護の両立**
 - 同好会の活動を発信する際、特にアルバム作成など個人情報を含む場合は、パスワード設定などの保護対策を講じるべきとの意見が出た。
- **活動の魅力向上と参加機会の多様化**
 - **新規同好会の設立:** eスポーツ、デジタル写真・動画編集、ゆっく りデジタル倶楽部など、時代に合った新しい同好会を設立することを検討する。
 - **活動の「見える化」:** 活動内容や成果を積極的に発信する。
 - **小グループ活動の促進:** 参加しやすい小規模な活動を増やす。
- **デジタルリテラシー向上を支援**
 - 会員向けの学習機会（講習会など）を提供、操作方法などのサポート体制を強化する。
 - 会員同士が教え合う文化を醸成する。
- **安全管理を徹底**
 - 野外活動を行う同好会は、熱中症対策や事故防止のため、スポーツ保険への加入を徹底するよう提案があった。

- **マンネリ化の打破と活性化**
 - 長年活動している同好会に見られる活動のマンネリ化や魅力低下の可能性を指摘した。
 - 外部の視点を取り入れたり、理事の体験参加などを通じて改善を図る必要がある。
 - 具体例:
 - 写楽会では、「スマートフォンでの撮影禁止」といった内規が活動を閉鎖的にし、存続の危機に繋がっている可能性がある。
 - 詩吟、謡曲などの同好会は、会員減少に直面している。
- **同好会推進部の役割を再確認**
 - 新しい同好会や時代に合った魅力的な同好会を創設する役割を担う同好会推進部が、現状十分に機能していないとの指摘があった。活動の活性化が求められる。

3. 伊藤部長から 総括

- 各自が「自分に何ができるか」を明確にし、主体的に活動に取り組むことの重要性を強調した。
- 各部において、部員とのコミュニケーションを一層重視するよう改めて呼びかけがあった。

4. 本日のまとめと今後のアクション

- **部長会の情報公開を推進**
 - 部長会での議論内容、決定事項、現在の問題点などを積極的に公開することで、会員の主体的関与を促し、組織全体のコミュニケーション活性化を目指す。（部長会に提案 - 協議する）
- **次回会議予定**
 - 次回デジタル担当者会議は、7月27日（日）に実施する予定である。
- **次回までの課題**
 - **会員名簿を整備**
 - 会計部を中心に進めているが、会員のメールアドレスや同好会の入会状況など、未整備な情報を同好会主体で収集 - 整備する。
 - **会報のデジタル化を推進**
 - 現在業者に委託している会報のレイアウト作成作業を内製化しコスト削減を目指す。